

## 第4学年「算数」学習指導案

授業者 富田 京子

2月16日（金） 3階A室 9：00～9：40 （話し合い11：00～11：45）

### 1 単元名 「大きさをくらべ」

### 2 単元について

4年生では平面図形（長方形・正方形）の面積の求め方の学習を行う。色々な四角形の構成要素や位置関係に着目し、図形を弁別したり作図したりしてきた学習から、面積をどうつなげていくかが課題ではないかと考えた。色々な四角形の特徴などを学習している子どもたちが、面積となると長方形・正方形のみの学習となる。一見、公式の仕組みを理解すればいいように見られるが、公式を知っていて求められることと面積が何かを理解して使えることとの間には、大きな溝があるのではないだろうか。知って活用していくことも大事だが、「なぜ使うのか、何を明らかにしたいのか、どのように使うのか」ということに考えを広げることも面積について、学習の入口として必要ではないかと考えた。

そこで、「大きさ」という概念を持ち込み、これまでも子どもたちが、色々な場面で「くらべる」ために数値化したり、測定したりしてきたことを改めて明らかにする。この「何のために、どのようにくらべるか」ということが、条件を設定し、選択していく算数の力につながる。実際に本学習でも「くらべる」という場面を様々に挙げていく中で、「面積」でくらべることが必要な場面を明確にし、それを数値化していくことでくらべた時の根拠になることを理解し、使えるようになることを目指し、子どもたちと学習を組み立てていきたい。

算数部がめざす、「数学的コミュニケーション」が本学習では、日常での「くらべる」と算数の世界での「くらべる」の違いを説明していく中で表出してくるのではないか。その違いを顕在化させることが教師の役割である。そして、「何をどの視点でくらべることが有効か」ということを理解していくことで、面積の概念を深めるための「自分事の算数」になっていくことを期待している。

### 3 学習指導計画（1時間目／全14時間）

- ・学習計画を立てよう（2時間）・・・本時1時間目
- ・学習に取り組もう（10時間）
- ・学習を振り返ろう（2時間）

### 4 本時の学習について

#### （1）本時のねらい

- ・「大きさをくらべる」から考えられることを出し合い、面積について関心を広げる。
- ・自分（自分たち）の考えや共有したところを基に、学習の見通しを持つ。

#### （2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 「大きさをくらべる」ということは、どんなことか、どんな場面で必要かを考え、ノートに書きだす。	○2分間ぐらい個人で行う。言葉でも、絵でも、文でも構わない（実物を使っても可） ○出された意見を板書していく
2 それぞれが考える「大きさをくらべる」とはどんなことか考えを出し合い、共有する。	※教師の受け取りと子どもたちの受け取りを確認 ※算数科の内容との整合性を考える
3 出された意見から、キーワードや共通することを考えこれからの学習に対する見通しをもつ。	○10時間ぐらいの学習時間があることを伝える

#### □授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・面積の学習を行う時に、「大きさをくらべ」について考え対話することが子どもたちの学習にとって、有効であるといえるか。面積の学習が目指すものは何か。